

[願意]

船橋市立船橋中学校に自閉症情緒障害特別支援学級の設置をお願いいたします。

[理由]

- 1、船橋市内において自閉症情緒障害を持つ生徒が多数いるが、自閉症情緒特別支援学級を有する中学校は全 26 校中 10 校と半数以下である。千葉市は 53 校中 43 校、習志野市は全 7 校全てに設置があり、近隣他市に比べて圧倒的に少ない。
- 2、学校内に支援学級がある事で生徒達の自閉症に対する理解が深まり、将来の社会生活や SDGs への知識習得の糧になる。
- 3、2020 年夏見台小学校に自閉症情緒障害特別支援学級が新設されたにも関わらず歩いて通学出来る受け皿となる中学校がない。
- 4、宮本中学校に通うにはバスと電車を乗り継がなければならず、送迎が必要な場合は親の負担が大きい、又女子生徒が朝の通勤時間に痴漢被害にあう可能性が高く深刻な精神的ダメージを負う危険がある。
- 5、船橋中学校は市内で 1 番の大規模中学校であり、教室が不足していることは重々承知しているが、陳情者の在籍時代は 13、12、12 クラスがあり現在よりも生徒数が多い。今一度使用頻度の低い多目的室や準備室を見直すべきである。
- 6、2026 年船橋西部地区に新しい中学校が新設されることにより生徒が分散し、教室不足の解消が予想される。
- 7、夏見台小学校の自閉症情緒特別支援学級は仮教室からスタートし、その後工事を経て現在の環境の整った教室となった経緯から、夏見台小学校 1 期生が入学するタイミングでの仮設からのスタートも議論されるべきであり、柔軟性とスピード感が極めて重要である。

したがって、以下の理由により同校同学級の早期設置をお願いいたします。